

平成25年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

大賞



グランフロント大阪

「関西最後の一等地」をどのように「再開発」するのが注目されていた大阪駅北地区の「うめきた」に、商業施設、オフィス、ホテルに加え、国内外の産官学の「知」の交流を目指し、「新たな価値」を生み出すというこれまでにない挑戦的な取り組みを行う知的創造拠点「ナレッジ・キャピタル」等を開設し、話題を集めた。これにより、オープンから9月末までの5ヶ月余りの来場者数約2,700万人という高い集客を維持し、関西の多様な文化発信の「新しい拠点」として、関西の魅力を国内外にアピールするのに貢献した。

特別賞

御遷宮対策委員会

1300年にわたって続けられている神事「式年遷宮」を地元で支え、民俗行事である「お白石持行事」の実施などを通じて、多くの人々に「遷宮」という先人が守り伝えてきた素晴らしい伝統や遷宮の心・日本の心を理解いただくよう努め、過去最高の参拝客を迎えることに貢献した。これにより、日本の伝統文化や歴史について、再発見、再認識する機会を参拝者のみならず、日本中の老若男女に与え、日本の伝統・文化を後世に伝え続けることの大切さを関西から全国に発信した功績は大きい。



ニューパワー賞

片岡 愛之助 (歌舞伎役者)

大阪府堺市出身。関西の歌舞伎界にあって、上方歌舞伎のホープのひとりとして活躍中。男役も女役も演じられる上方らしい役者として評価され、2013年は2回の座頭公演を成功させた。また、大ヒットしたTVドラマ「半沢直樹」のオネエ口調の黒崎役で、ドラマを盛り立てる個性的な演技で新たな魅力を発信した。関西を拠点に上方舞榎茂都流家元としても活躍し、文字通り「上方文化」の牽引役として期待される。



桐生 祥秀 (陸上選手)

滋賀県出身、京都・洛南高校在学中の陸上選手。4月に行われた織田幹雄記念国際陸上大会100メートル予選にて10秒01を記録した。これは日本歴代2位・日本ジュニア新記録・日本高校新記録。「日本人初の100メートル9秒台が出るのでは」との期待が高まり、日本中が彼の出場するレースに注目した。モスクワで開催された世界陸上にも出場するなど、今後、世界での活躍が期待される逸材である。



提供：月刊陸上競技社

能年 玲奈 (女優)

兵庫県出身の女優。NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のヒロイン「天野アキ」役に、1,953人の応募者のなかから大抜擢された。元気一杯の演技、フレッシュな笑顔は、高視聴率をたたき出し、多くの人々を元気にするとともに、舞台となった東北に大勢の観光客が訪れた。ヒロイン役として、関西を含め日本中に元気を与えた功績は大きく、今後の活躍が大いに期待される。



©LesPros entertainment.Co.,Ltd.

山口 茜 (バドミントン選手)

福井県立勝山高校在学中の女子バドミントン界の新星。現在、日本代表。156センチと小柄ながら、プレーは粘り強く頭脳的。1年生にして、全国高校総体優勝、全日本ジュニア2位。9月に開催された世界バドミントン連盟公認のスーパーシリーズであるヨネックスオープン・シングルスでは、世界ランク12位や8位の海外選手を撃破、大会史上最年少で日本人初優勝という偉業を達成。今後の活躍が期待される。



提供：日本バドミントン協会